

学年 学科	3年 A	科目 分類	国語 Japanese	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標	4	担当	神田朝美 KANDA Tomomi
概要	国語による表現方法は、目的や対象によって異なる。たとえば、情緒や思考力を養うための文章と知識や情報を与えるための文章とに同様の表現を用いると、読み手・聞き手に対し誤解を生む可能性がある。さまざまな表現方法を理解したうえで、的確な解釈力、および、TPOに合った表現力を身につける。								
科目目標 (到達目標)	他者の意見・意図を正確に解釈する能力、および、適切な表現で自己の知識・見解を明確に示す能力を身につけることを目標とする。								
教科書 器材等	○精選現代文（東京書籍） ●プリント								
評価の基準と 方法	中間試験40% + 期末・学年末課題40% + 講義への姿勢・課題20% ※学年末評価								
関連科目									
授業計画									
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)							
第1回		ガイダンス ●ことば・文・段落・文章							
第2回		○茂木健一郎「最初のペンギン」							
第3回									
第4回		○杉本卓「メディアは何を変えるのか？ーインターネットやケータイ」							
第5回									
第6回		○小論文の書き方 課題文読解型小論文							
第7回									
第8回	×	前期中間試験							
第9回		○中原中也「一つのメルヘン」							
第10回									
第11回		○志賀直哉「城の崎にて」							
第12回									
第13回									
第14回		●分かりやすい文章表現①							
第15回		○実用的な文章 報道の文章・広告の文章							
第16回		○丸山真男「「である」ことと「する」こと」							
第17回									
第18回		○長谷川権「平気一正岡子規」							
第19回									
第20回		○安部公房「赤い繭」							
第21回									
第22回		●批評							
第23回									
第24回	×	後期中間試験							
第25回		●分かりやすい文章表現②							
第26回		●レポート・論文の書き方							
第27回									
第28回									
第29回		○評論用語概観 より ことばと表現の学習							
第30回									
第31回		学習のまとめ							
第32回									
第33回									
オフィスアワー	(前期) 火・水・木曜日 (後期) 水・木・金曜日								
授業アンケートへの 対応	基礎を固めるため、検定教科書を使用する。								
備考									
更新履歴	2013. 4. 1. 新規								